

桜木小学校 保護者の皆様

# 桜木小学校 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

千歳市立桜木小学校 校長 鈴木 輝光

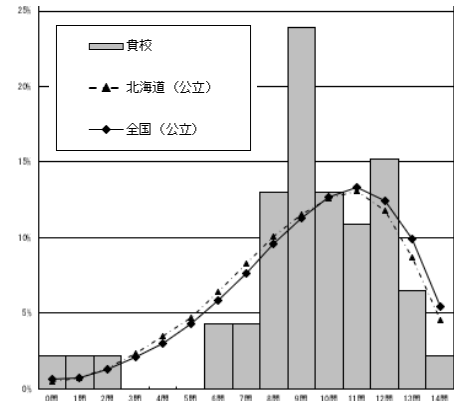
6年生が4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果についてお知らせいたします。なお、個人票については、7月24日付で6年生児童に配付しています。

## 《 教科に関する調査結果 》

【国 語】 全国平均と比べて、同様の結果でした。

### 正当数の分布

- ・正答数9問が突出して多く、正答数1～3問、14問が非常に少なくなっています。
- ・全国および北海道の分布がなだらかになっている（均等に分布している）のに対して、本校は正答数9問前後に集中している傾向が見られます。



### ＜全国平均に比べ正答率が高かった問題＞

○文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題。

### ＜全国平均に比べ正答率が低かった問題＞

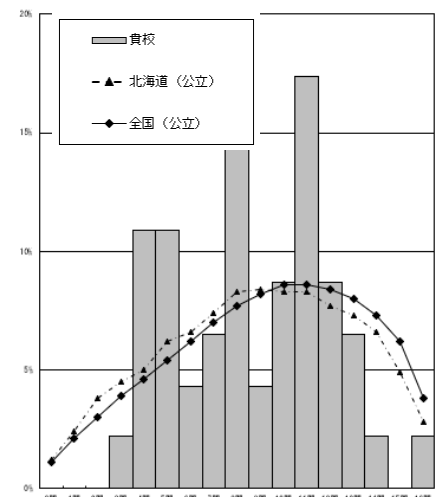
▲漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題。  
 （問題例）あついに、手ぬぐいを水でぬらして首にまくと・・・

千歳市の学力向上の重点としている読解力・記述力を向上させるために、言葉による見方・考え方ははたらかせる授業づくりを行います。説明文や物語文は、文章全体を捉える読み方を行うことで、記述する時間を十分に確保するよう努めます。また、漢字は書く練習をするだけでなく、文や文章の中で使う練習を行うよう推奨していきます。

【算 数】 全国平均と比べて、やや下回る結果でした。

### 正当数の分布

- ・正答数4問、5問、8問、11問が突出して多く、多極化の傾向が見られます。
- ・全国および全道と比較して、正答数4問、5問が2倍近くになっていて、正答数12問以上が下回っていることから、下位層が多く、上位層が少ないことがわかります。



### ＜全国平均に比べ正答率が高かった問題＞

○角の大きさや二つの数量の関係から必要な数量を見だし4つの中から選択する問題。

### ＜全国平均に比べ正答率が低かった問題＞

▲分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題。

引き続き、習熟度別少人数学習による基礎・基本の定着を図ります。加えて、「思考力・判断力・表現力」を育成するために、図形や分数等の概念を操作活動や具体物を用いて「意味」から考えさせる授業を行うなど、数学的な見方・考え方ははたらかせ、子どもたちが主体的に学習に向かうよう工夫します。

## 【理 科】 全国平均と比べて、やや上回る結果でした。

### 正当数の分布

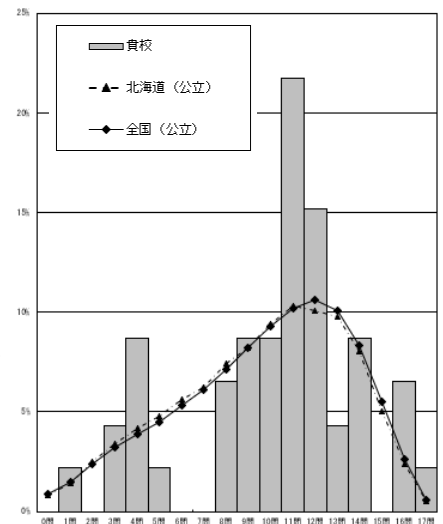
・正答数12問が突出して多く、13問以上も全国および全道を上回っている階級が多くありました。一方で、正答数4問が多いことから、二極化の傾向が見られます。

### ＜全国平均に比べ正答率が高かった問題＞

○ヘチマの花のつくりや受粉についての知識、顕微鏡を操作して、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる問題。

### ＜全国平均に比べ正答率が低かった問題＞

▲電流がつくる磁力について、電磁石の強さはコイルの巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる問題。



理解に対する高い意欲を生かし、知識・技能の定着を図るとともに、根拠をもとにした予想・考察の場面を毎時間設定し、理科の見方・考え方を育てていきます。

## 《 児童質問の調査結果 》

### 全国と比べ肯定的な回答が多かった問題

- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- 学習の中でタブレットなどのICT機器を活用し、友達と協力しながら学習を進めることができますか。
- タブレットなどのICT機器を使って文章を作成する・プレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- 理科の勉強は得意ですか・好きですか。

### 全国と比べ肯定的な回答が少なかった問題

- ▲毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ▲学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ▲算数の勉強は得意ですか・好きですか・授業の内容はよく分かりますか。
- ▲解答時間は十分でしたか（算数）。
- ▲学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

・調査結果から「自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表している」ことがわかりました。本校の重点「チャレンジ～かかわりあって高め合う」を意識した取り組みが、子どもたちに浸透しているようです。学習に限らず大切なことなので、今後も育成を図っていきます。

・理科の勉強が得意、好きと回答した児童が多かった一方で、算数が得意、好きと回答した児童は少ないという結果でした。特に、算数の学習では、本校の校内研究で進めている「対話を取り入れた協働的な学び」や「自らの学びを調整する力」を身に付ける授業づくりにより、学ぶ楽しさ、わかる喜びを味わえるように授業改善を進めていきます。

・ICTの活用に関する設問は、全般的に高い傾向にあります。これまでの積み上げが成果となって表れています。引き続き、必要な場面で効果的に活用していきます。

・家庭学習の習慣化が定着しつつあるので、ご家庭の協力も得ながら学年に合った学習時間と内容の充実を図っていきます。